

平成31年2月14日

報道機関各位

(森づくりセミナー)

## 北海道におけるコンテナ苗生産・植栽システムの開発

今後予想される造林用苗木の需要増加や苗木の生産・植栽関連の労働者不足に対応するため、コンテナ苗による効率的な苗木生産技術及びコンテナ苗の特性を生かした運搬・植栽システムを開発したので、研究成果を紹介するとともに、これからの研究の方向性を皆さんとともに考えるセミナーを開催します。

◎日時 平成31年3月4日(月) 13:00~15:40

◎場所 かでる2・7(北海道立道民活動センター) 大会議室(4F)  
(札幌市中央区北2条西7丁目)

◎主催 (地独) 北海道立総合研究機構森林研究本部(林業試験場、林産試験場)

◎共催 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所北海道支所

### ◎講演内容

- カラマツコンテナ苗の育苗方法 (林業試験場道北支場長 来田和人)
- 北海道におけるコンテナ苗の植栽成績 (森林総合研究所北海道支所 津山幾太郎)
- コンテナ苗の運搬・植栽システムの提案 (林産試験場技術部主査 近藤佳秀)
- 北海道におけるコンテナ苗の展望と課題 (林業試験場道北支場長 来田和人)

### ◎申込方法

- チラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、Fax、メールなどでお申し込みください。
- 申込締切 平成31年2月22日(金)(定員:160名)

### ◎報道(取材)にあたってのお願い

どなたでも自由に無料で参加できますので、開催について広く報道していただくようお願いいたします。

### ◎同時配付先

道政記者クラブ、林政記者クラブ

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(道総研)

森林研究本部 林業試験場 企画調整部 普及グループ(担当者:棚橋・荒木)

電話 0126-63-4164 ※平日8:45~17:30 土・日・祝日はお休みです。

# 北海道における コンテナ苗生産・植栽システムの開発



日時

平成31年3月4日(月)  
13:00~15:40 受付12:20~

場所

かでの2・7 大会議室 (4階)  
札幌市中央区北2条西7丁目

主催

北海道立総合研究機構 森林研究本部  
林業試験場・林産試験場

共催

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林総合研究所 北海道支所

申込方法

- 裏面の申込用紙に必要事項を記入の上  
郵便・FAX・メールでお申込みください。
- 申込締切：平成31年2月22日(金)  
※定員(160名)になり次第、締め切らせていただきます。

今後予想される造林用苗木の需要増加や苗木の生産・植栽関連の労働者不足に対応するため、コンテナ苗による効率的な苗木生産技術及びコンテナ苗の特性を生かした運搬・植栽システムの開発を行いました。研究成果を紹介するとともに、これからの研究の方向性について皆さんと一緒に考えます。

(問い合わせ先)

北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部 普及グループ (担当：棚橋・荒木) (林業試験場)

TEL：0126-63-4164 FAX：0126-63-4166

E-mail：forestry@hro.or.jp

## 北海道におけるコンテナ苗生産・植栽システムの開発

## プログラム

&lt; 開 会 13:00 &gt;

## (発 表)

## □ カラマツコンテナ苗の育苗方法 (道総研林業試験場道北支場 来田和人)

コンテナ苗育苗の省力化を図ることを目的として、カラマツ種子をコンテナに播種して1年で成苗にする育苗技術開発に取り組みました。本発表では、近赤外光選別した種子の発芽率、発芽に最適な温度、そして、コンテナセルサイズ、播種時期、施肥量、野外馴化のタイミングが苗木の成長に与える影響について報告するとともに、北海道におけるカラマツ一粒播種コンテナ苗の最適な育苗方法について提案し、その育苗コストの試算結果を紹介します。

## □ 北海道におけるコンテナ苗の植栽成績 (森林総合研究所北海道支所 津山幾太郎)

人工林の主伐増加に伴って懸念される苗木生産量の不足や、再造林にかかるコストの低減に有効な方法として、コンテナ苗の活用が期待されています。コンテナ苗は、育苗作業や植栽作業が比較的容易なうえ、裸苗よりも活着が良好といわれています。しかし、日本では植栽試験による有効性の検証はまだ十分ではありません。そこで、本発表では、北海道内の様々な地域の人工林における、植栽後の苗木の追跡調査データを用いて行った、コンテナ苗の植栽成績の検証結果を紹介します。

## □ コンテナ苗の運搬・植栽システムの提案 (道総研林産試験場技術部 近藤佳秀)

コンテナ苗は形が均一で活着が良いことから大量生産に向き、今後の造林面積の増大と担い手不足に対応できる苗として期待されています。一方、かさばる、重いという欠点もあり従来の裸苗とは異なる運搬・植栽技術が必要となります。そこで、本発表では、既存の技術+αのシステムについて作業効率を調査した結果を示し、裸苗と同等以上に効率よく楽に植栽できるシステムを提案します。

## □ 北海道におけるコンテナ苗の展望と課題 (道総研林業試験場道北支場 来田和人)

今日の発表3題の内容を振り返るとともに、コンテナ苗の育苗、造林の現状ならびに研究の進展状況から見える今後の展望と課題について発表します。

## (質疑応答・討論)

&lt; 閉 会 15:40 &gt;

## 参加申込書

開催日時：平成31年3月4日(月) 13:00~15:40

開催場所：かでの2・7 大会議室(4階) 札幌市中央区北2条西7丁目

## 申込書送付先

北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部 普及グループ(棚橋、荒木)  
〒079-0198 美唄市光珠内町東山 TEL: 0126-63-4164 FAX: 0126-63-4166  
E-mail: forestry@hro.or.jp

※ 申込締切：平成31年2月22日(金) (定員160名)  
(会場の収容人数に限りがございますので、定員に達し次第、締め切らせていただきます。)

申し込み 担当者	所 属	TEL	担当者名
	E-mail		

所 属 ※一般の方は、お住まいの市町村名をご記入ください。	役 職 等	ふりがな (申 込 者) 氏 名

※ ご記入いただいた事項は、このセミナーに関するご連絡にのみ使用します。